

2023年1月25日

各 位

株式会社 山口フィナンシャルグループ

「第8回サステナブルファイナンス大賞」の受賞について

山口フィナンシャルグループ（代表取締役社長CEO 棕梨 敬介）は、このたび、一般社団法人環境金融研究機構が主催する「第8回サステナブルファイナンス大賞」において、「地域金融賞」を受賞しましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 「サステナブルファイナンス大賞」とは

環境問題を金融的に解決する「環境金融」の普及・啓蒙活動を行っている一般社団法人環境金融研究機構（以下、環境金融研究機構）が、日本の金融市場で環境金融商品・サービス・取り組みを行う金融機関、企業、団体等を対象に表彰する制度です。

環境、金融の両分野をカバーする10人の専門家の方々全員のスコアによる定量評価と、審査員会議での定性評価との総合判断による審査により選出されます。

2. 受賞テーマについて

（1）受賞テーマ

地域金融機関初の個人投資家向けグリーンボンド（※）発行

[※グリーンボンドについては、こちらをご参照ください](#)

（2）概要

2022年10月、個人投資家の環境保全意識の高まりに応えるとともに、山口フィナンシャルグループによる環境保全への貢献を目的として、個人投資家向けグリーンボンドを地域金融機関として初めて発行しました。

なお、当社が発行したグリーンボンドは、適格クライテリアを満たす再生可能エネルギー・グリーンビルディングを資金使途とする融資に限定しております。

〈授賞式（1月18日）の様子〉



左から、佐藤泉弁護士事務所 佐藤代表、山口フィナンシャルグループ 曽木経営統括本部長、環境金融研究機構 藤井代表理事

(写真：環境金融研究機構提供)

3. 山口フィナンシャルグループのマテリアリティ

山口フィナンシャルグループは、持続可能な社会の実現に貢献していくために、「グループサステナビリティ方針」を策定し、この方針に基づき、重点的に取り組むべき E S G 課題である「マテリアリティ」を特定しております。本件は、12のマテリアリティの中で「⑤省資源・省/創エネルギーへの対応」、「⑥大気汚染・気候変動への対応」の実現に資する取り組みです。

 地域社会・ 経済活性化への 取り組み	①人口減少・少子高齢化への対応 ②地域におけるイノベーション創出、 地域産業の成長サポート ③地域コミュニティとの連携強化 ④商品・サービスの安全性と品質向上	 環境保全への 取り組み	⑤省資源・省/創エネルギーへの対応 ⑥大気汚染・気候変動への対応 ⑦環境に配慮した商品・サービス開発
 役職員全員の 働きがいへの 取り組み	⑧人材育成・研修機会の創出 ⑨安心・安全な労働環境作り ⑩多様な人材の活躍 (ダイバーシティ&インクルージョン)	 強固な 経営基盤づくり への取り組み	⑪ガバナンス体制・内部統制の強化 ⑫経営の透明性向上と説明責任

以 上

【本件に関する問い合わせ先】

山口フィナンシャルグループ 総合企画部

高瀬 (082) 258-8945